

進一四

幹發第一一三

別紙元非職大阪郵使電信局長
山田雪助外一名位階進叙ノ件
上奏書進達ス

明治廿五年十月十四日

逓信大臣伯耆黒田清隆



内閣總理大臣伯耆伊藤博文殿

進一四

正六位 元職大坂郵便電信局長奏任六等三級俸從六位勲一等山田雪助
正六位 元職橫濱郵便電信局長奏任六等三級俸從六位勲一等寺田一郎
右兩名、多年郵便電信ニ関スル職務ヲ
奉シ、黽勉精勵之處、省務之都合ニ
依リ、山田雪助ハ本年八月十九日寺田
一郎ハ同月廿四日諭旨退官候然ル
ニ兩名トモ奏任官在職滿五年以
上ニシテ、其勤勞甚シカラザルモノ
ニ付、特ニ位一級進メラレ度謹シテ奏ス

明治廿五年十月十四日

遞信大臣伯爵黑田清隆



從六位勲六等山田雪助
全 寺田一郎

特旨ヲ以テ位一級被進
全 從六位勲六等山田雪助
全 寺田一郎

敘正六位

右謹々奏ス

明治廿五年十月十九日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

正副
記入済

内

進

一四

十月廿日裁可
今月廿日在

明治廿五年十月十九日

内閣書記官

多田

小宮

印

内閣總理大臣

伊藤

内閣書記官長

多田

元非職大臣郵便電信局長後六任山田雪助元非職横濱
郵便電信局長後六任寺田一郎ハ今般論旨退官ノ處
孰レモ高等官在職五年以上ニシテ勤勞不少ニ付叙位
内別第五條ニ依リ進信大臣奏請ノ通特旨ヲ以テ各
位一級進メラレ然ルヘシ

進

一〇

乾
一〇八

別紙鐵道廳技師野村龍太郎位
階進叙ノ件上奏書進達不

明治廿五年十月七日

遞信大臣伯爵黒田清隆

内閣総理大臣伯爵伊藤博文殿



十一